

ベトナム紅河デルタ村落の農業変容 —制度の中の生産とムラの役割—

柳澤 雅之 氏

(京都大学東南アジア地域研究研究所)

日時

2023年2月24日(金) 17:00～18:30

開催方法

対面(京都大学本部キャンパス
総合研究2号館4階 AA447会議室)
とZOOMのハイブリッド開催です。

下記サイトより事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/Pa3Sc5JjZiFFrwx5> (当日12:00締め切り)



要旨

1994年にベトナムで開始されたバッコック村落研究は、紅河デルタの農業・農村・農民の経験を、激動のベトナム近現代史の中に位置づける試みである。本報告では特に、社会主義から市場経済への移行過程における農村社会の変容に焦点を当てる。この間における農業生産の変化を、制度・技術・経済インセンティブから検討し、それらをあたかも自律的に統合しているかのようなムラの役割について考える。さらに、バッコック村の経験を通じて、農学的適応・工学的適応として知られる、人と自然の関係についての議論を再考する。

